

4. 子ども家庭福祉 - 出題範囲 (抜粋)

「指定保育士養成施設の指定及び運営の基準について」(平成 15 年 12 月 9 日付け雇児発第 1209001 号厚生労働省雇用均等・児童家庭局長通知) 別紙 3 「教科目の教授内容」に定める教科目「子ども家庭福祉」及び「子ども家庭支援論」の内容とする。(以下参照)

<教科目名> 子ども家庭福祉
<p><内容></p> <ol style="list-style-type: none">1. 現代社会における子ども家庭福祉の意義と歴史の変遷<ol style="list-style-type: none">(1) 子ども家庭福祉の理念と概念(2) 子ども家庭福祉の歴史の変遷(3) 現代社会と子ども家庭福祉2. 子どもの人権擁護<ol style="list-style-type: none">(1) 子どもの人権擁護の歴史の変遷(2) 児童の権利に関する条約(3) 子どもの人権擁護と現代社会における課題3. 子ども家庭福祉の制度と実施体系<ol style="list-style-type: none">(1) 子ども家庭福祉の制度と法体系(2) 子ども家庭福祉の実施体系(3) 児童福祉施設(4) 子ども家庭福祉の専門職4. 子ども家庭福祉の現状と課題<ol style="list-style-type: none">(1) 少子化と地域子育て支援(2) 母子保健と子どもの健全育成(3) 多様な保育ニーズへの対応(4) 子ども虐待・DV (ドメスティックバイオレンス) とその防止(5) 社会的養護(6) 障害のある子どもへの対応(7) 少年非行等への対応(8) 貧困家庭、外国籍の子どもとその家庭への対応5. 子ども家庭福祉の動向と展望<ol style="list-style-type: none">(1) 次世代育成支援と子ども家庭福祉の推進(2) 地域における連携・協働とネットワーク(3) 諸外国の動向

<教科目名> 子ども家庭支援論

<内容>

1. 子ども家庭支援の意義と役割
 - (1) 子ども家庭支援の意義と必要性
 - (2) 子ども家庭支援の目的と機能
2. 保育士による子ども家庭支援の意義と基本
 - (1) 保育の専門性を活かした子ども家庭支援とその意義
 - (2) 子どもの育ちの喜びの共有
 - (3) 保護者及び地域が有する子育てを自ら実践する力の向上に資する支援
 - (4) 保育士に求められる基本的態度（受容的関わり・自己決定の尊重・秘密保持等）
 - (5) 家庭の状況に応じた支援
 - (6) 地域の資源の活用と自治体・関係機関等との連携・協力
3. 子育て家庭に対する支援の体制
 - (1) 子育て家庭の福祉を図るための社会資源
 - (2) 子育て支援施策・次世代育成支援施策の推進
4. 多様な支援の展開と関係機関との連携
 - (1) 子ども家庭支援の内容と対象
 - (2) 保育所等を利用する子どもの家庭への支援
 - (3) 地域の子育て家庭への支援
 - (4) 要保護児童等及びその家庭に対する支援
 - (5) 子ども家庭支援に関する現状と課題